



世界水産物連盟ニュースレター

2022年4月



バルセロナシーフードエキスポへの出展

GSAは先日のポストンシーフードショーに加えて、4月26日から28日、バルセロナのフィラ・デ・バルセロナにて開催される [Seafood Expo Global\(SEG\)](#)に出展致します。

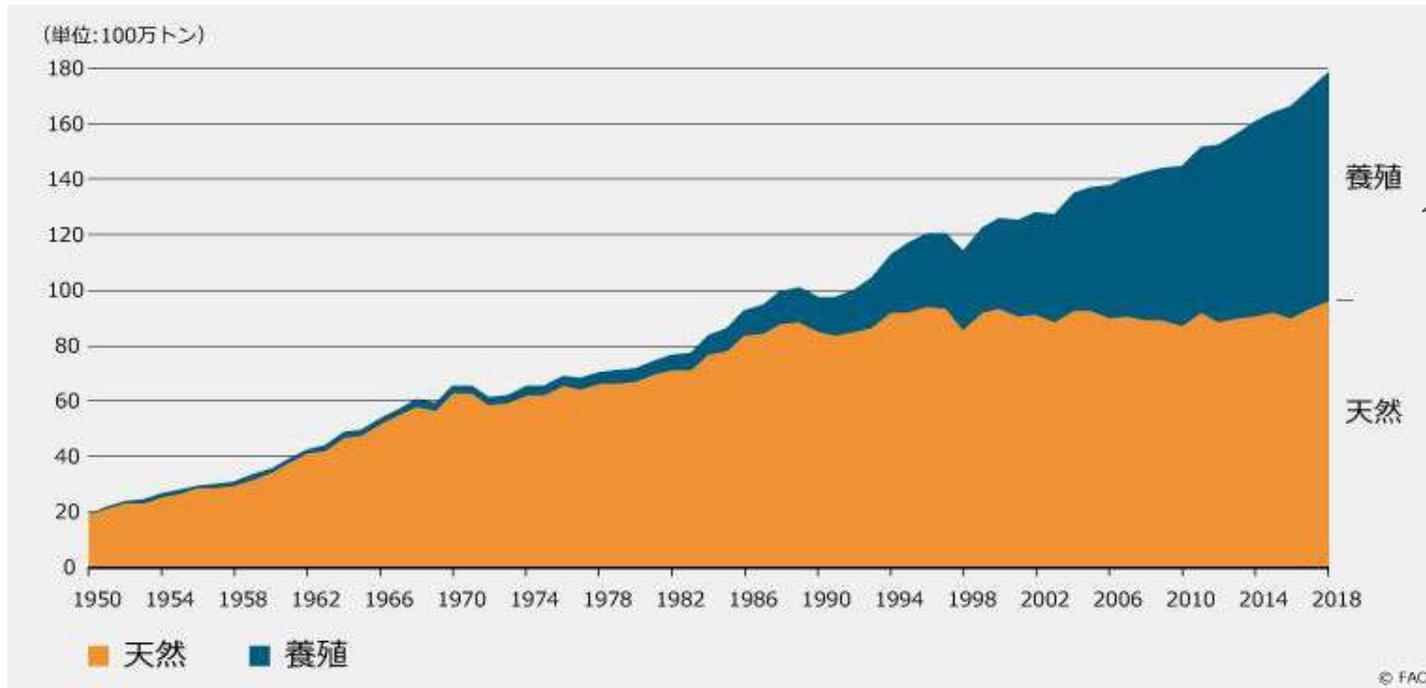
ご参加の皆様は、GSAのブース5D201へお立ち寄り下さい。

また、27日の11時～14時でGSAステークホルダーアップデート&ランチオンをRoomCC4.2にて予定しております。[こちら](#)より、事前登録をお願い致します。

また、出展を予定されているBAP認証エンドーサー様でサイネージの展示をご希望の際はご連絡下さいませ。



問題点の整理



世界の魚介類総生産量(海藻類等は除く) 出典: FAO「世界漁業・養殖白書2020年」

世界的な魚の消費は右肩上がり一方で漁船漁業による生産量は頭打ちで、養殖業の拡大が需要を賄う為に大きな役割をはたしています。しかし養殖により全ての資源の問題が解決するわけではありません。

また、養殖が急速に増加したことにより以下の様な問題が発生しております。

- 餌による水質汚染、生餌など他の資源の使用、養殖場建設による自然環境の破壊、**養殖魚の脱走により生態系に与える影響**、過度な抗生物質の使用、過酷な労働環境など



BAP認証では4つの柱(食品安全、環境への責任、社会への責任、動物の健康と福祉)を設け、養殖のサプライチェーンの各段階に基準を設定する事により、これら全ての問題やその他の問題にも対応しております。

問題点の整理～BAP認証での対応～

今回は**養殖魚の脱走により生態系に与える影響**についてです。

栽培種や外来養殖種の逃亡、またはその卵や幼生の放出は異種交配による、現地の甲殻類や魚類個体群の遺伝子プールの変化につながりかねません。外来種の逃亡は、食料や生息場所を巡る在来種との争いも招き、場合によっては、これ以外の有害な生態学的結果をもたらしかねず逃亡養殖魚から天然魚に疾病が伝播する恐れもあります。

逃亡は通例、摩損、船の衝突、人為ミス、大型捕食動物の攻撃により網に穴が開くと起きます。損傷は悪天候でも生じることがあり、これが網を破り、相当な損失につながる可能性があり選別や収穫のために魚を水から上げるときや、ケージで養殖する一番小型の魚には網目が大きすぎるときにも起きることがあります。

BAP認証では、養殖魚を收容するシステムは適切な基準に基づきデザイン、作製されており、インフラや器具は一定の期間で検査や修理が行われていることを求め、その検査や修理の手順を有し、またその結果の報告システムも有している事が求められます。

もし、養殖魚の脱走が起こった際は、脱走の理由、脱走魚の数、健康状態、回復計画や有効性の統計を含めて文書として記録していることも求められます。

例えば以下の様な基準が組み込まれております。

3.49 すべての收容／輸送／養殖システムは、卵、幼体、若年、成年の放出を最小限に抑えるよう設計、運営、維持管理されるものとする。

3.50 養殖している中で最も小型の動物でも通ることのできない金網(スクリーン)とネットを排水ポンプ、排水管、排水門に取り付けるものとする。ポンプ吸い込み口やその周辺に、金網(スクリーン)、ネット、その他のツールを取り付けて、外部環境とのバリアとするものとする。

3.51 収穫と種苗移送の作業中には、有効な二次封じ込め策を講じ、動物の逃亡を食い止めるものとする。

3.52 養殖動物の逃亡をとまなうインシデントは正確に記録に残すものとする。

オマーンの養殖場で同国初のBAP認証取得事例

GSAは、オマーンにてヨーロッパヘダイを生産するBlue Waters LLC社がBAP認証を取得したと4月上旬に発表しました。

首都マスカットの南約100キロにあるQurayyatの沖合にある円形のケージから構成されるこの養殖場は、オマーンで最初にBAP認証を取得した施設です。

施設は、2016年から運営しており今年は2,350トンのヨーロッパヘダイの生産を見込んでおります。

稚魚はヨーロッパのふ化場から輸入されております。Blue Waters LLC社は2022年の後半にオープン予定の独自のふ化場をオマーンに建設中です。

Blue Waters LLC社のヨーロッパヘダイはサウジアラビア、アラブ首長国連邦、カタール、バーレーンの小売企業に冷蔵の丸魚として販売されております。

Blue Waters LLC社のCEO Nabeel AIRuwaidhi氏

「BAP認証の取得は大きな成果であり、Blue Waters社が高品質で持続可能な養殖魚の国際的に認められた生産者であることを証明しています。」

Blue Waters LLC社の品質・安全管理責任者のLars Bo Windmar氏

「収益性が高く、持続可能で社会的責任のある水産業界を支援することが私たちの使命です。これは業界と科学が協力して非常に前向きな成果を上げる輝かしい事例です。」

詳しくは[こちら](#)。



首都マスカットの南約100km、オマーン湾に位置するBlue Waters LLC社の養殖場



CEOのNabeel AIRuwaidhi氏

Iberostar GroupがBAP認証へのコミットメントを発表

GSAは4月11日にヨーロッパ、アフリカ、アメリカ等16カ国以上で、100以上のホテルを展開する世界的ホテルグループのIberostar GroupがBAP認証を取得した養殖場や加工工場からの水産物を調達すると宣言したと公表しました。

Iberostar Groupは、2017年にWave of Change運動を導入し、2020年に、責任ある水産物の調達、海洋環境の改善、循環型経済への移行、責任ある観光の主導に関連する長期目標を発表しました。

2021年、Iberostar Groupは責任ある水産物の調達を70%にするというマイルストーンに到達しました。

2025年までに責任ある水産物の調達を100%にすることも目標に含まれております。

Iberostar Groupのサステナビリティ・グローバルディレクター Megan Morikawa博士

「養殖水産物の持続可能性を大切にして、海の健康とそこからの製品に依存するビジネスとして、BAP認証商品は私たちの世界的な責任ある水産物の需要を満たすためのより多くの選択肢を提供します。」

詳しくは[こちら](#)。



Iberostar GroupのサステナビリティグローバルディレクターMegan Morikawa博士

BAP認証の「ふ化場基準2.0版」が公開されました

食品安全、労働者の安全、水質管理、排水管理などに関する新たな要求事項が追加された BAP認証のふ化場基準2.0版の最終版が2022年4月4日に公開されました。

2.0版は2014年9月に発効された1.0版の替わりとなり、2023年4月4日に有効となります。

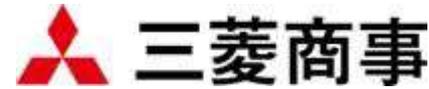
施設が新基準に適應する時間を設ける為、ふ化場レベルで認証を取得する全ての施設、認証を更新する施設はこの時点まで2.0版への準拠は求められません。

2021年11月8日までの60日間のパブリックコメント期間では合計で 27のコメントを頂きました。

以下の様な新たな要求が基準に組み込まれます。

- ・ふ化場はその運営に関連する潜在的な食品安全リスクのリスク評価を実施する必要があります。
- ・賃金と福利厚生、残業を含む労働時間、自主労働、児童労働と若年労働者、エージェントを通じての労働者の使用、差別、懲戒手続き、労働者の声、労働者の健康と安全を含む労働者関連の要求事項の更新。
- ・陸上システムの排水モニタリングパラメーターと制限が更新され、閉鎖循環式陸上養殖 (RAS)の固有のパラメーターと制限が含まれています。
- ・淡水または汽水域のケージ、ネットペンの水質監視要件が改定され、BAP認証養殖場基準3.0で採用されたアプローチと一致しています。
- ・年間50トン以上のドライフィードを使用するふ化場の BAP Fish in- Fish out(FIFO)制限が改定され、天然魚依存率(FFDR)を計算する要件が追加されました。
- ・ふ化場は効果的な内部監査プロセスを通じて、種親、卵の出处を管理する必要があります。
- ・脱走を制限する為の要件が追加されました。
- ・トレーサビリティ要件、特にBAP認証のスター制度の証明に関連する要件が更新され、トレーサフォワードとトレーサバックの証明が必要になりました。

国内BAPエンドーサー企業一覧



※全26社のうち、23社を掲載

BSP認証 SSCIへの申請状況について

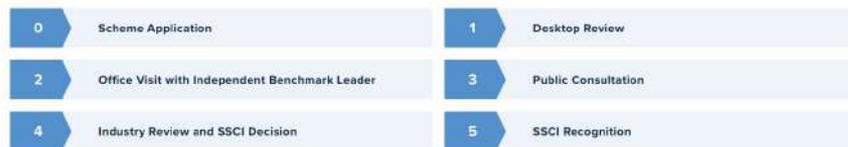
SSCI(Sustainable Supply Chain Initiative)は、コンシューマーグッズフォーラムの一環で「社会面」と「認証の運営」についてのベンチマークです。

Manufacturing and Processing、Primary Production、At-Sea Operationという3つのカテゴリがあり、SSCIへ申請する認証は該当するカテゴリを選択します。At-Sea OperationとPrimary Productionの養殖業に関連する項目ではGSSIとの協働を行っております。

弊団体のBSP認証からRFVS(責任ある漁船基準)をAt-Sea Operationへ
BAP認証からSPS5.1(加工工場基準)をManufacturing and Processingへ申請しております。
申請から承認までは0から5の6段階あり、現在は両基準共に2段階目を終えております。
2022年3月時点、水産関連の認証としては弊団体の上記 2つの基準のみがSSCIへの申請を行っております。



Benchmarking Process



Current Applicants

■ Completed ■ In Progress ■ To be completed

責任ある漁船基準(RFVS基準)のパブリックコメント

責任ある漁船基準2.0版は60日間(4月22日まで)のパブリックコメントの期間を設けております。

これは、GSAが英国のSeafishから基準の所有権を取得して責任ある漁船基準の1.0版を正式に公開した2020年6月以来の大きな変更です。この基準の変更は2022年1月19日にRFVS技術委員会によって合意されました。

以下は主な追加点です。

-漁船の品質管理システム内で乗組員の修復ポリシーを要求します。これは、新しいGSAのRFVSゼロトレランスポリシー(ZTP)に違反した場合にアクティブになります。このZTPは、漁船監査中に特定された非常に深刻な人権侵害のみを対象としています。

-責任ある漁船基準の漁船カテゴリーの範囲を拡張して、グループ内で運航する入札船や補給船も含める。

-新しいSustainable Supply Chain Initiative(SSCI)のAt Sea Operationベンチマークとの完全一致。

-特に乗組員の支払いに関して、recruitment agencyとrecruitment supplier/providerの違いを定義する。

-漁船に乗船している若い家族に関する条項とそれらを保護する為に、実施されている措置をさらに明確にする。

責任ある漁船基準の1.0の元で認証を取得している漁船は、認証取得日から3年間後に期限が切れるまではこれらの新しい要求の対象とはならない。

コメント提出をご希望のステークホルダーの皆様は[こちら](#)

責任ある漁船基準2.0版のドラフトは[こちら](#)

正式に頂いた全てのコメントはRFVS2.0版の正式な発表の前に、GSAによって検討されます。

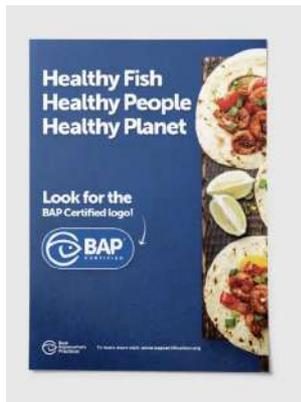
BSP認証について

BSP認証は責任ある漁業を認証された漁船や加工工場にリンクできる世界で唯一の第三者認証プログラムです。

サプライチェーン全体の全ての労働者の安全を尊重し、天然の水産物が倫理的な方法で漁獲および加工されている事を市場に保証します。詳しくは<https://www.bspcertification.org/>へ。

BAP認証フェアの企画大募集中です！

BAP認証を運営するGSAではマーケティングサポートも積極的に行っております。
共同でのイベントをご希望の方は日本マーケット担当芝井までご連絡下さいませ。
それぞれのイベントのご要望に合わせて打ち合わせをさせて頂き、必要に応じてポスター、ポップ、
その他ビデオ、ステッカー等々を 無料にてデザイン、納品致します。
※必要枚数の印刷に関しては各企業様でご負担を頂けます様お願い致します。



Front (4" x 6")



Back (4" x 6")



マーケティングサポート用にご用意ができる資料は以下をご参照下さいませ。

<https://drive.google.com/file/d/1COWGrAKVCVoEldZzmsOcSIXJZHcQ5-5h/view?usp=sharing>

マーケットとして導入しやすいBAP認証

ふ化場、飼料工場、養殖場、加工工場はBAP認証の対象になり、年に一度の監査が必要になります。商品の加工が発生しないサプライヤー、小売、社員食堂やレストランなどのフードサービスはエンドーサー合意書の締結のみで、無料でBAPロゴの使用やリリース、レポート等での発信が可能になります。

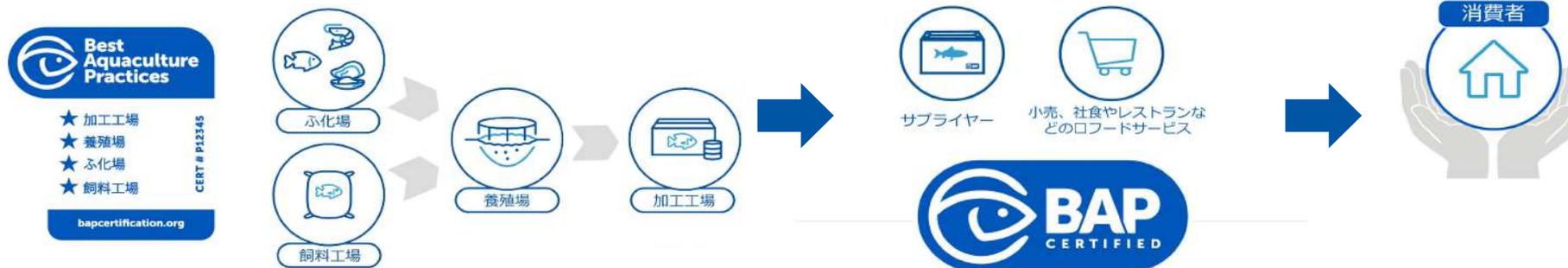
特例1: 個別包装された商品を開封、再梱包またはラベルの張り替えをせず、商品の梱包やラベルをそのままの状態での流通する場合について。その施設は加工工場認証の取得対象外になり、エンドーサー合意書の締結のみ必要となりBAPロゴ付き商品として、そのまま販売して頂けます。

特例2: 最終消費現場での商品の加工、調理、再包装、またラベル張り替えをする場合は加工工場認証の対象外となり、エンドーサー合意書の締結のみでロゴを使用いただけます。(スーパーのバックヤード加工、飲食店・レストラン・ホテルの調理場加工など。)

また、複数の水産物を使用した製品に関して、使用された一部の水産物がBAP認証であればロゴマークを使用することができます。可能な限りどの水産物がBAP認証なのかを明記してください。詳しくは[こちら](#)よりBAP認証ロゴガイドラインをご参照ください。

ふ化場、飼料工場、養殖場、加工工場はBAP認証の対象となります。

BAP認証水産物を販売促進または購買支援する企業はエンドーサー契約の対象となります。



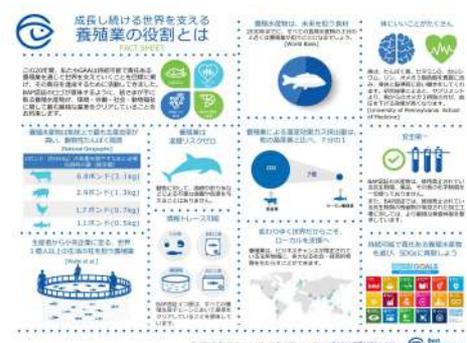
BAP認証の日本語版の各種資料について

BAP認証に関する日本語の三つ折りパンフレットや、各種資料を以下のリンク先より無料ダウンロードすることができます。是非ご活用下さいませ。

<https://info.globalseafood.org/ja-jp/bap>



GSAとBAP認証のご案内



養殖漁業ファクトシート



BAP認証ロゴマーク使用ガイドライン



2020年次レポート



BAP認証の日本語ロゴについて

BAP認証の日本語版ロゴを用意しております。
利用をご希望の方は芝井までお問い合わせください。
kota.shibai@globalseafood.org



魚と人の
未来のために



責任ある
養殖水産物の
国際基準



国際基準を満たした環境で
養殖されています



海と魚を守る安心の
BAPマーク



きれいな海で獲れた健康な
魚介類の証

ニュースレターに関するお問い合わせは以下までお願い致します。
※二次利用をご希望の方はお問い合わせ下さいませ。

世界水産物連盟 日本マーケット担当
芝井 幸太

メールアドレス：
kota.shibai@globalseafood.org

電話番号：
080-2167-0086

BAP認証ウェブサイト
<https://japan.bapcertification.org/>

※配信停止をご希望の方は、こちらまで「配信停止」とご連絡くださいませ。

